

各 位

2007年5月21日
日本特殊陶業株式会社
取締役社長 加藤倫朗

睡眠時無呼吸症候群スクリーニング機器「ソムニー」開発の件

当社では、このたび、自覚症状に乏しい睡眠時無呼吸症候群（SAS: Sleep Apnea Syndrome）を容易に発見するためのスクリーニング（検査）機器「ソムニー」を筑波大学 谷川武 准教授らと開発することに成功しましたのでお知らせいたします。

1. 開発の経緯

近年、鉄道・トラック・バス・船舶等の職業運転者の居眠り運転がSASに起因するものであるという事例が増加し、これによる交通事故が社会問題となりつつあります。SASは、睡眠中に呼吸が止まった状態が繰り返され、睡眠時間を十分にとったにもかかわらず日中の眠気、集中力の低下などをもたらし、高血圧や心臓病といった生活習慣病のリスクも誘発するおそれを有しています。日本でのSAS罹患者は200万人～300万人といわれていますが、最近の研究によると人口の8%程度の人々に治療を要する睡眠呼吸障害があることも判明しております。当社においても、600人余りに対してSASスクリーニング検査を行い、8%程に中程度以上の睡眠呼吸障害があることが分かりました。

当社は、生体親和性の高いセラミックスを用いたバイオ製品や、慢性呼吸疾患向け酸素濃縮器により培ったメディカルビジネスの技術・営業ノウハウを足がかりに、SASの簡易検査に着目し、筑波大学大学院人間総合科学研究課の谷川武 准教授らと2年間の共同開発を経て、「ソムニー」の開発に成功いたしました。

2. 特徴

「ソムニー」は、自覚症状に乏しいSASを発見するための検査機器です。検査の受診者は、「ソムニー」を腕に、また、口鼻の呼吸を感知する使い捨て呼吸センサを鼻に取り付け、通常どおり一晩睡眠をとるだけで検査データを得ることが出来ます。自宅で普段どおり眠っているうちに呼吸状況がデータ記録され、これをパソコンで自動解析することでスクリーニング結果が得られます。

また、「ソムニー」は、最小の機器構成で一日に400人～500人程度の受診者の呼吸データを解析し結果を自動打ち出しすることができ、運送業や公共交通機関等の法人需要にも対応できる点、従来の機器と比較して優れております。

3. 展開計画

当社では、「ソムニー」を用いたSASスクリーニング事業を開始いたしました。今後は、SASの社会的な認知に伴いこの分野が成長するものと見込んでおり、個人の健康管理に役立つ製品として拡販を考えております。

(お問い合わせ先)

総務部広報課 加藤正史、樋川 誠

TEL 052-872-5896

応用セラミック事業部企画部 棚田哲次

TEL 0568-76-4697

写真添付

以上